

嚥下調整食分類表(八尾市立病院)

日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021に準ずる

分類	ゼリー食A(嚥下訓練食品0j)	ゼリー食B(嚥下調整食1j)	ペースト食B(嚥下調整食2-1)	きざみとろみ食(嚥下調整食3)
形態	均質で付着性・凝集性・かたさに配慮されたゼリー。	均質で付着性・凝集性・かたさに配慮されたゼリー・プリン・ムース状のもの。	ピューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかでべたつかず、まとまりやすいもの。	形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの。多量の離水がない。
特徴	嚥下評価、訓練用に用いるもの。たんぱく質を含まないゼリーである。	口腔内ですでに適切な食塊状となっている。(少量をすくってそのまま丸呑み可能)送り込む際に多少意識して口蓋に舌を押し付ける必要がある。0jに対して表面のざらつきがある。	主食は、粥ゼリー。 副食はペースト状にし、とろみ剤で粘度の調整をおこなっている。	離水に配慮した粥。 副食形態はきざみとろみ(多量に離水がない)になる。
基本主食	なし	なし	粥ゼリー	きざとろ粥 (多量に離水がない粥)
基本献立	エンゲリドゼリー1個/食	ゼリー又はムース 2-3個/食	粥ゼリー 副食ペースト状	きざとろ粥 副食きざみとろみ プリン、ゼリー、ムース付
献立例				
エネルギー/日	54	673	1600	1550
たんぱく質/日	0	21	70	60
食事回数	3	3	3	3
とろみ調整食品	—	—	ソフティアU(粥)、ソフティアS	ソフティアU(粥)、ソフティアS